

# 団地だより

平成 28 年 5 月 10 日 No,93  
(発行) 下大利団地区  
(発行者) 山川 拓也  
(公民館) ☎ 573-8440

## ◆\*平成 28 年度定例総会報告\*◆

平成 28 年度定例総会が、平成 28 年 4 月 17 日 (日) 午前 10 時から下大利団地公民館で出席者 102 名・委任状 664 名 合計 766 名 (構成員 1,159 名 過半数 580 名) で開催され、議長に 秋丸 雅太郎氏 (19 棟 406 号) が選出されました。

平成 27 年度活動報告・同決算報告・同会計監査報告が承認され、その後、新会計監査に、倉掛 清隆氏 (23 棟 407 号) を、また、青少年育成部長 印丸 洋子氏 (36 棟 101 号) から平成 27 年度末で辞任の申し出があり、その後任に 金城 拓矢氏 (26 棟 403 号) が選出されました。

引き続き、平成 28 年度活動計画 (案)・同予算 (案) の提案説明があり、両案は承認され、総会は、午前 11 時に閉会しました。

今回、任期満了退任された会計監査 岩橋 克能氏 (23 棟 502 号) 及び前青少年育成部長 印丸 洋子氏には、区のため大変ご尽力をいただきましたことを深く感謝申し上げます。

## ◆\*平成 28 年度下大利団地区役員等名簿\*◆

職務	棟・号	氏名	職務	棟・号	氏名
区長 (公民館長)	27-104	山川 拓也	女性部長	26-103	生野 尚子
副区長 (副公民館長)	17-505	前田 誠一	青少年育成部長	26-403	金城 拓矢
会計 (公民館会計)	23-301	金城日出子	体育委員	38-405	諸熊 仁和
書記	27-505	今里 愛子	体育委員	44-303	田北 裕之
文化部長	16-406	山岡 絹江	会計監査	8-202	有馬 法子
体育部長	28-101	縄田 靖弘	会計監査	23-407	倉掛 清隆

※会計監査 倉掛 清隆氏の任期は平成 30 年 3 月 31 日までとなります。

## ◆\*大野城市少年相談員の委嘱\*◆

青少年の非行防止と居住地域を中心とする青少年の健全育成を図るため、次の 2 名の方が大野城市少年相談員として市長から委嘱されました。(任期:平成 28 年 5 月 1 日~平成 30 年 4 月 30 日)

36 棟 101 号 印丸 洋子氏 (再任)・26 棟 101 号 松岡 薫氏 (新任)  
いろいろ大変なお仕事かと思いますがよろしく願いいたします。

また、4 月 30 日付で退任された小林 京子氏 (17 棟 504 号) には 19 年間にわたりお務めいただき、その間のご苦勞に心より深く敬意と感謝を申し上げます。

## ◆\*地震災害時等の避難場所について\*◆

4 月 14 日夜に発生した熊本地震は、今のところ余震も収束する気配はみられません。近くを警固断層が走る下大利団地としては決してよそ事ではありません。

地震が発生した場合は、思いがけない混乱が予想されます。災害発生の場合、先ず各自の判断で避難行動をとってください。不用意に移動しない方がよい場合も考えられます。

そして、避難の判断に迷う場合は、まず団地グラウンドに避難してください。その後は市・消防団・警察・区などの指示に従ってください。もし、グラウンドまでの移動が困難な場合は、とりあえず近くの公園や空地に避難し、救助隊の救援を待ってください。

今年 2 月に配布された「大野城市ハザードマップ」(平成 28 年 1 月版) に災害発生時の対応が詳しく書いてありますのでお読みください。

## ◆\*UR 等の地震災害被災者の支援について\*◆

UR は熊本地震で被災された方に、住宅の提供を開始しています。

突然の災害で見知らぬ土地への転居を余儀なくされ、生活環境の大きな変化に困っておられる方に、区は出来るだけのお手伝いや援助のお世話を考えています。

また、阪神淡路大震災を体験され、現在下大利団地にお住まいの方からも、熊本震災で転入されお困りの方への相談ボランティアの申し出があつています。ご相談ご希望の方は、公民館 (TEL573-8440) までご連絡ください。

## ◆\*公民館事務員の交代\*◆

下大利団地公民館事務員として 17 年間勤務された松本 光子さんが、一身上の都合により 2 月末日をもって退職されました。長い間のご精励に深謝し、今後のご多幸をお祈りします。

後任には下大利在住の末次 菊恵さんが 2 月下旬から勤務しています。前任者同様ご好誼のほどよろしく願いいたします。

## ◆\*火の取り扱いに注意—フライパンの空焚き\*◆

4 月 7 日 (木) の午後、某棟でフライパンの空焚きによる焦げくさい臭いが周囲に立ち込め、火災報知機が激しく鳴る事案が発生しました。

異常に気付いた近所の人の機転の処置で、発火寸前に火災を未然に防止することができましたが、一時は消防自動車等 10 数台が出動する騒ぎとなりました。

集合住宅では、いったん火災が発生すれば大惨事も予想されます。各自、火の元の点検・確認にはくれぐれも注意してください。